

イデックスオイルレポート ~For a week~

嶺新出光

【概況】

●28日、米エネルギー情報局(EIA)は28日付の石油供給に関する月報で、4月の米石油生産量と需要は4カ月ぶりの高水準となる一方、4月のガソリン需要は日量883万バレルと、2月以来の水準に低下したと明らかにした。夏季の旅行客の増加で燃料需要が拡大するとの期待は強いものの、低調なガソリン需要を示す統計を受け、相場は81.54ドルへ反落しました。

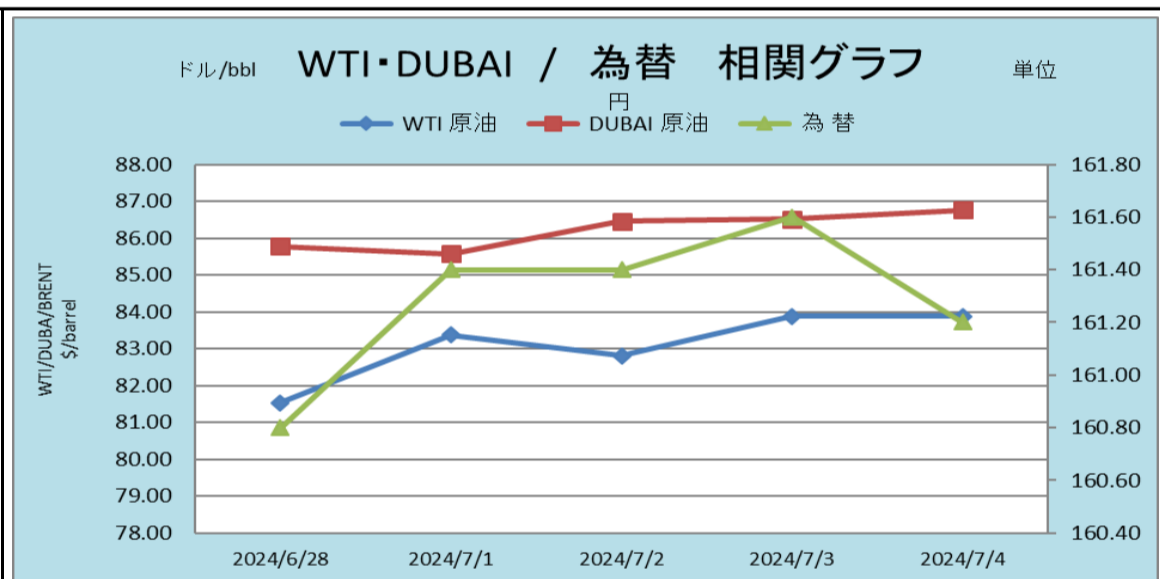
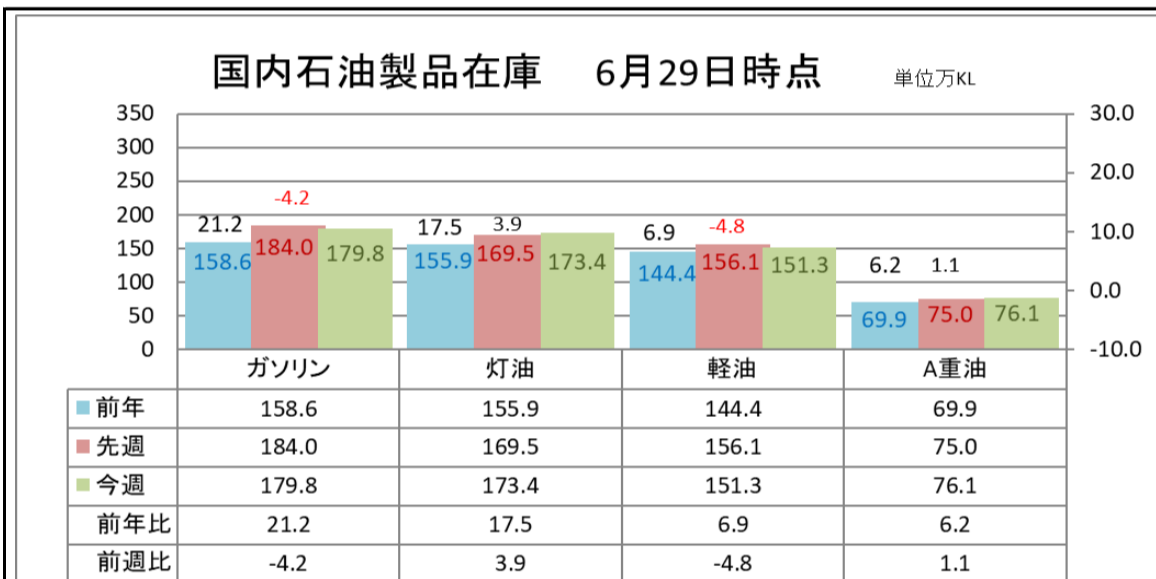
●1日、パレスチナ自治区ガザで、イスラエルとイスラム組織ハマスとの戦闘が続く中、ハマスの連帯を示すレバノンのイスラム教シーア派ヒズボラがイスラエルに対する攻撃を強化。事態沈静化へ向け、米国が両者に働きかけているものの、数週間以内に本格衝突に発展する可能性もあると報じられている。紛争がイランやイラク、イエメン、シリアなど周辺の産油国に拡大すれば、国際市場の石油供給が減少するとの懸念が買いを促し相場は83.38ドルへ反発しました。また、石油輸出国機構(OPEC)加盟・非加盟の産油国で構成する「OPECプラス」は6月初めの会合で、日量366万バレルの協調減産を2025年末まで延長することで合意。一方、欧米諸国が本格的な夏を迎える7~9月期は燃料需要の増加が見込まれることから、需給バランスが供給不足に傾くと一部の分析も相場の押し上げ要因となった。

●2日、米ドライブシーズンに伴う夏場の燃料需要増加への期待や地政学リスクに伴う供給不安などを受け、相場は朝方、堅調に推移。一時84ドル前半まで上伸した。ただその後は、カリブ海を通過するハリケーン「ベリル」を背景とした供給不安が幾分和らいだことが圧迫要因となって値を消し、マイナス圏に落ち込み相場は82.81ドルへ反落しました。

●3日、米エネルギー情報局(EIA)が午前発表した週報によると、6月28日までの1週間の米原油在庫は前週比1220万バレル減と、市場予想(70万バレル減=ロイター通信調査)を大幅に上回る取り崩し。ガソリン在庫は220万バレル減(予想130万バレル減)と、夏場のドライブシーズンに伴う堅調な需要を示唆した。ディスティレート(留出油)在庫は150万バレルの減少(予想120万バレル減)。相場は週報発表直後、売り買いが交錯。あと需給引き締め観測から買い進まれ相場は83.88ドルへ反発しました。また、外国為替市場で、米長期金利の低下を眺めてドル安・ユーロ高となったことも、ドル建てで取引される原油の割安感につながり買いを後押ししました。

●4日、独立記念日のため休場。

7月5日 | 16:00現在 | WTI原油 | 83.69ドル | 為替 1ドル | 162.17円



	次回元売変動予測	
	7/11~	元売変動予測
ガソリン	→	-2.4~-2.9
灯油	→	-2.4~-2.9
軽油	→	-2.4~-2.9
A重油	→	-2.4~-2.9
LSA	→	-2.4~-2.9

【製品卸価格】

《今週》今週の元売り仕切り改定は、3社ともに原油コストは「+3.0円」、補助金は、「-28.4円・60%」、都合「+0.4円」の改定となりました。資源エネルギー庁の公表する全国レギュラーガソリンの1日時点の小売価格平均は175.6円となっております。

《7月11日以降》次回の元売り改定は、原油コスト(OSP含む)は「+2.0円~+2.5円」、激変緩和補助金は「-33.3円・60%」の見込みで、都合「▲2.9円~▲2.4円」の改定の予測となっております。

※原油コスト「+2.0円~+2.5円」
 ※激変緩和補助金「-33.3円」前週比-4.9円
 ※現時点での予測です。

【次世代エネルギー】 <東邦ガス 水素製造を開始 次世代エネルギーとして期待>

東邦ガスは次世代エネルギーとして期待される「水素」の導入拡大を見込んで、愛知県知多市の工場で27日から水素の製造を開始しました。27日は知多市にある東邦ガスの「知多緑浜工場」で水素の製造開始を記念する式典が開かれました。この工場では天然ガスと水を高温で反応させることで水素を作り出していて、1日に1.7トン、水素で走る燃料電池車およそ340台分の水素を製造することができるということです。できあがった水素は、自社が持つ燃料電池車用の水素ステーションで販売するほか、燃焼用や工業原料としてメーカーなどにも販売するとしています。式典が終わると、さっそく水素が入った専用容器を積み込んだトレーラーが工場を出発していきました。東邦ガスの小澤勝彦常務は「今回こうして顧客のもとに届けられる体制が整ったのでぜひ使ってもらって本格的な水素の時代に向けた準備をわたしたちで進めていきたい」と話していました。東邦ガスでは将来的には水素の製造販売をガスと並ぶ主要事業のひとつに位置づけたいとしています。

【出典】NHK

<https://www3.nhk.or.jp/tokai-news/20240627/3000036232.html>